



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社パピレス

上場取引所 東

コード番号 3641 URL <http://www.papy.co.jp/info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井康子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務・経理部長 (氏名) 須永喜和

TEL 03-6272-9533

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,400	25.1	635	42.8	609	47.4	386	50.6
2019年3月期第2四半期	9,110	11.1	1,111	87.6	1,159	88.5	783	95.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 377百万円 (52.3%) 2019年3月期第2四半期 791百万円 (100.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	39.03	38.81
2019年3月期第2四半期	79.55	78.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	12,348	7,115	57.0
2019年3月期	11,789	6,677	56.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 7,037百万円 2019年3月期 6,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,165	15.7	1,671	15.2	1,694	15.0	1,146	15.0	115.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) アルド・エージェンシー・グループ、 除外 社 (社名)
グローバル株式会社

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	10,326,880 株	2019年3月期	10,326,880 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	383,563 株	2019年3月期	433,521 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	9,905,895 株	2019年3月期2Q	9,847,808 株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 「期末自己株式数」には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(2020年3月期2Q 270,000株、2019年3月期 320,000株)が含まれています。また、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を、「期中平均株式数」の計算において控除する自己株式数(2020年3月期2Q 307,432株、2019年3月期2Q 17,049株)に含めています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、当社グループの事業は電子書籍事業のみであり、重要な事業拠点も当社のみとなっているため報告セグメントはありません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、景気は緩やかに回復しています。個人消費は持ち直しており、雇用情勢は着実に改善しています。

電子出版の市場規模は、「インプレス総合研究所『電子書籍ビジネス調査報告書2019』によると、2018年は3,122億円（うち電子書籍市場規模は2,826億円、電子雑誌市場規模は296億円）と推計されています。電子書籍市場は、社会問題化していた海賊版サイトが2018年4月に閉鎖されて以降、多くの電子書籍ストアが多額のマーケティング予算を前倒しで投入したこと、結果的には海賊版サイトが電子書籍の認知度向上につながったことも遠因となり、新規のユーザーの増加や平均利用金額の増加につながりました。

電子書籍の市場環境は、市場参入企業も多く、厳しい競争が続いています。この結果、コンテンツ需要の増加による、出版社等のコンテンツホルダーからの仕入れコストが上昇しています。また、集客を強化するための、広告宣伝や販促コストも拡大傾向となっています。

このような環境の中で、当社グループは、顧客第一主義のもと、サービスの向上と他社との差別化を図るとともに、広告宣伝と販売促進施策を積極的に行うことによって、事業拡大に努めています。また、海外市場の開拓及び次世代コンテンツの開発にも積極的に取り組んでいます。さらに、広告宣伝、サイト検索機能の向上のためにAIの実用化を進めています。

広告宣伝費は、TVCMの実施、新手法のインターネット広告の導入等、積極的に実施しました。

販売促進費は、効果検証を進め、効率性の向上に努めています。

海外市場の開拓は、広告施策、サイト改良、翻訳体制の強化を進め、売上規模の拡大に努めています。

次世代コンテンツの開発は、制作体制の強化により、コンテンツの制作数が増加しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は11,400百万円（前年同四半期比25.1%増）、営業利益は635百万円（前年同四半期比42.8%減）、経常利益は609百万円（前年同四半期比47.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は386百万円（前年同四半期比50.6%減）となりました。

以下、当第2四半期連結累計期間における主な活動状況を報告します。

(集客施策)

TVCM、インターネット広告等の広告施策を積極的に実施するとともに、広告効率の向上に努めました。

TVCMは、第5作目として「Renta! レンタウロス編」をリリースしました。

また、当社独自のキャンペーン施策等を積極的に実施しました。大手出版社と協力して「48時間100円レンタル」キャンペーンや、「コミックコンシェルジュ」等のオリジナルキャンペーンを行っています。

(サイト改良施策)

「Renta!」の検索表示改良、1 to 1 表示最適化改良を実施しています。

(コンテンツ施策)

「Renta!」を中心に、タテ読みフルカラーコミック「タテコミ」の拡充を進めています。「タテコミ」の普及を目的としたキャンペーン施策を実施しています。

また、オリジナル電子コミックレーベル「Renta! コミックス」で、少女漫画レーベル「hanamomo」を開始し、週刊連載をスタートしています。

(次世代コンテンツ開発施策)

小説の文章を短く区切り、画像を追加した「絵ノベル」（特許取得済）及びコミックを動的演出で見せる「コミックシアター」のフルカラー化、フルボイス化などの改良を進めています。

また、「タテコミ」にアニメーション効果を付加した「タテコミMove!」の制作体制の強化も進めています。

さらに、マンガをフルカラー化して、モーションと人気声優によるボイスを付加した、スマホで見る縦型マンガアニメーション「アニコミ」をリリースしています。

(海外展開施策)

「英語版Renta!」、「中国語繁体字版Renta!」の翻訳体制の強化を進め、掲載コンテンツを拡充しています。

また、「中国語繁体字版Renta!」は、台湾の大手出版社のコンテンツ掲載を開始しました。

さらに、海外向け電子書籍取次販売事業を、株式会社アムタスと協力して行うことを目的とした合弁会社(子会社)、アルド・エージェンシー・グローバル株式会社(略称AAG)を設立しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は12,348百万円(前連結会計年度末比4.7%増)となりました。

流動資産は11,583百万円(前連結会計年度末比4.9%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金が8,895百万円、売掛金が2,392百万円です。

固定資産は765百万円(前連結会計年度末比2.9%増)となりました。主な内訳は、投資その他の資産が716百万円です。なお、重要な設備の新設および除却はありません。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は5,233百万円(前連結会計年度末比2.4%増)となりました。

流動負債は5,233百万円(前連結会計年度末比2.4%増)となりました。主な内訳は、買掛金が2,768百万円、未払金が1,046百万円です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は7,115百万円(前連結会計年度末比6.6%増)となりました。主な内訳は、資本金が414百万円、資本剰余金が891百万円、利益剰余金が6,501百万円です。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は57.0%(前連結会計年度末56.2%)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ356百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の残高は8,149百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は451百万円(前年同四半期比65.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益609百万円、売上債権の増加額185百万円、仕入債務の増加額315百万円、法人税等の支払額525百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3百万円(前年同四半期比92.0%増)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出218百万円、定期預金の払戻による収入216百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は68百万円(前年同四半期比28.7%減)となりました。これは主に、配当金の支払額101百万円、非支配株主からの払込による収入33百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,565	8,895
売掛金	2,209	2,392
コンテンツ資産	6	9
その他	275	302
貸倒引当金	△12	△16
流動資産合計	11,044	11,583
固定資産		
有形固定資産	51	48
無形固定資産		
その他	0	0
無形固定資産合計	0	0
投資その他の資産	692	716
固定資産合計	744	765
資産合計	11,789	12,348
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,453	2,768
未払金	1,004	1,046
未払法人税等	553	267
賞与引当金	54	66
株式報酬引当金	103	25
その他	942	1,059
流動負債合計	5,111	5,233
負債合計	5,111	5,233
純資産の部		
株主資本		
資本金	414	414
資本剰余金	891	891
利益剰余金	6,216	6,501
自己株式	△889	△760
株主資本合計	6,632	7,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△1	△8
その他の包括利益累計額合計	△0	△8
新株予約権	25	25
非支配株主持分	20	53
純資産合計	6,677	7,115
負債純資産合計	11,789	12,348

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	9,110	11,400
売上原価	3,977	5,149
売上総利益	5,133	6,251
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	2,357	3,471
代金回収手数料	704	905
貸倒引当金繰入額	11	11
賞与引当金繰入額	23	37
株式報酬引当金繰入額	56	25
その他	868	1,163
販売費及び一般管理費合計	4,022	5,615
営業利益	1,111	635
営業外収益		
受取利息	6	8
退会者未使用課金収益	3	2
為替差益	38	—
その他	0	0
営業外収益合計	49	11
営業外費用		
投資事業組合運用損	1	2
為替差損	—	34
その他	0	0
営業外費用合計	1	37
経常利益	1,159	609
税金等調整前四半期純利益	1,159	609
法人税、住民税及び事業税	429	250
法人税等調整額	△49	△26
法人税等合計	379	224
四半期純利益	779	385
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	783	386

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	779	385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	12	△7
その他の包括利益合計	12	△7
四半期包括利益	791	377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	795	379
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,159	609
減価償却費	4	3
投資事業組合運用損益(△は益)	1	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	11
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	56	51
受取利息及び受取配当金	△6	△8
為替差損益(△は益)	△37	41
売上債権の増減額(△は増加)	△345	△185
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1	△3
仕入債務の増減額(△は減少)	447	315
未払金の増減額(△は減少)	157	43
その他	37	82
小計	1,478	968
利息及び配当金の受取額	6	8
法人税等の支払額	△181	△525
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,304	451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△224	△218
定期預金の払戻による収入	222	216
有形固定資産の取得による支出	△0	△0
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△42	△0
自己株式の処分による収入	2	—
配当金の支払額	△98	△101
リース債務の返済による支出	△0	△0
非支配株主からの払込みによる収入	—	33
その他	42	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96	△68
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,230	356
現金及び現金同等物の期首残高	5,430	7,792
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,661	8,149

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第2四半期連結累計期間において、海外向け電子書籍取次販売事業を行うことを目的として、アルド・エージェンシー・グローバル株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。なお、アルド・エージェンシー・グローバル株式会社は、当社の特定子会社に該当しています。